

小松社長を偲んで

11月5日 小松芳昭 様のご逝去されました。

九月に還暦のお祝い号で 赤い帽子に赤チャンコすがたの嬉しそうな社長をご紹介したばかりなのに、
こうして小松社長へのお悔やみをするさなければならない事が とても悲しく胸がいっぱいになっております。
ご自分の病の進行状態をすべてご存じの上で 我慢のぎりぎりまで現場に足を運ばれていたとの事。
いまさらながら そのお心の強さに雄覇社員一同 尊敬の念を深くしております。
小松社長は雄覇の制服をお召しになり旅立たれたとうかがいました。
やはり小松社長は雄覇の一員・家族ですね。私達 雄覇一同はこれからも小松社長を忘れません。
心をこめて ここに哀悼の言葉をささげます。

尚、当社 代表の弔文は 同ホームページの「**至誠通天**」に掲載しております。ぜひご一読下さい。

小松さんへ

正直小松さんがおらんくなった実感がほとんどないよ。
今でも電話をすればいつもの調子で出てくれそうな気がする。
でも受け入れんとダメなんやろうね。
京丹後で初めて会った小松さん。
名古屋駅に迎えに来てくれた小松さん。
南相馬で一緒に仕事をした小松さん。
岩手で療養中の小松さん。
容態が悪くなって名古屋に帰った小松さん。
でもいつ会いに行っても同じ元気な笑顔の小松さん。
常に前向きで明るかった小松さん。
常に近くで力になってくれた小松さん。
最後に電話で話したときに頼まれたワンカップは
今度逢いに逝くときに持っていくからいつもの元気な笑顔で
迎えに来てね。
じゃあ、また

業務戦略統括

阿部 優二

小松社長のご逝去を知り驚きとともに深い悲しみで一杯でございます。

先月は病院にお見舞いに伺いました折は、たいへん顔色も良かったので未だに信じられない思いです。

思えば社長には京都の仕事で出会い楽しく、時には厳しく指導して下さいまして私の仕事に対する意欲向上、
そしてマイナス面で直すところも教えて下さいました。この教訓を人生に生かして生きていくことがご恩に
報いる道と思って頑張る覚悟でございます。

どうぞご家族には1日も早く立ち直られご健康で社長の分まで長生きしていただきますようお願い申し上げます。
小松社長の生前の笑顔、お姿を偲びつつ心からお悔やみを申し上げます。

工事部部长

渡邊 ジョーイ

突然の悲報に、驚きと悲しみでいっぱいです。
 伊達市の除染工事で初めてお逢いして以来、仕事の事のみならず本当に様々な事をお教え下さいました。
 辛い時にはいつも貴方の優しい笑顔に支えて頂きました。
 今思い出すのはその笑顔ばかりです。
 ご会葬参列はかないませんでした、在りし日のお姿を偲び心よりご冥福をお祈りいたします。

業務戦略 部長 和多 義博

小松社長
 今までありがとうございます。出会えてあまりにも時間がなく、四回しか逢えていません。
 凄く残念です。
 小松社長、私は人として一番大事な人間学を教えて頂いたことを忘れません。
 小松社長との出会いは一生の宝です。
 これからも自分自身の意志を持ち小松社長から教わった事、約束を守り悔いのない生き方をしていきます。
 次は来世でお会いしましょう。
 それまで、どうか雄覇をお守りください。

システム管理企画部部長 福永 裕司

小松社長とは自分が雄覇に入って初めて仕事をした時に知り合いました。
 仕事に関してもプライベートにしてもよくしてもらった記憶しかありません。
 本当にいい小松社長でした。

山田 竜一

この度は、誠に御愁傷様でございました。
 もうあの元気なお姿を拝見できないと思いますと、心が痛んでまいります。
 ご冥福をお祈りいたします。

山野 太郎

心からお悔やみ申し上げます。ご生前中は、何かとお世話になりまして、ありがとうございました。
 もっと色々教わりたかったです。
 辛い闘病生活 お疲れ様でした・・・ ゆっくり休んでください

飛田 昭憲

この度はお悔やみ申し上げます。
 小松社長には、ご逝去あそばれましたとの報に接し誠に驚き入りました。
 貴社ご一同様のご傷心のほど深くお悔やみ申し上げるとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。
 ご生前中はことのほか御高配にあずかり雄覇が今日まで業績増大ができましたのもひとえに小松社長のお陰と
 かんしゃいたしております。
 小松社長との事は社長や社員からとても仕事熱心で従業員の面倒見も良くみんなから慕われていました。
 小松社長とは仕事で一緒になった事はありませんが、何度か会社の行事でお逢いしました。
 そういえばサザンのカラオケを歌ってました。
 10月に逢い食事をしながら雄覇と一緒に仕事をしたいといった事がとても嬉しく心に残っています。
 小松社長の雄覇に対する思いを忘れる事なく頑張っ行って行こうと思います。
 いままで大変お疲れ様でした。

専務取締役

立川 順次

この度はご遺族様はじめ、社内ご一同皆様さぞかしお力落としのこととお察し致します。
先日小松社長様にお目にかかったおりに、あれほどお元気で、ご一緒にお食事をした際にはまた再会できる日が
来る事をお話していたのにとっても残念でなりません。 . . .
心よりご冥福をお祈り申し上げます。

工事部 課長

藤河 由記登

小松社長の御冥福を 心よりお祈り申し上げます。
数週間前にお会いした時はとても元気だったのに 余りにも早いお別れ、残念でなりません。
昨年の前夜祭の時 一緒にステージで歌って下さったことが 今では尊い思い出となってしまいました。
小松社長との貴重な時間は一生の財産として 私の心の中で大切に大切に致します。
苦しみや泣き言を一切見せず 自分が一番苦しいはずなのに周りを元気にするそのお人柄。
全てに責任を果たされ 見事に生き抜くその男道を心より尊敬いたします。
どうか安らかにやすみ下さい。本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。

人事部部長

松岡 省三

何事にも時があり、天の下の出来事にはすべて定められた時がある。
生まれる時、死ぬ時、植える時、植えたものを抜く時、殺す時、癒す時、破壊する時、建てる時、泣く時、笑う時、嘆く時、
踊る時、石を放つ時、石を集める時、抱擁の時、抱擁を遠ざける時、求める時、失う時、保つ時、放つ時、裂く時、縫う時、
愛する時、憎む時、戦いの時、平和の時、人が苦勞してみたところで何になる。
私は知った人間にとって最も幸福なのは喜び楽しんで一生を送ることだ、と。
私は知ったすべての神は業は永遠に不変であり付け加えることも除くことも許されない、と。
神は人間が神を畏れ敬うように定められた。(コヘレトの言葉 3)
小松社長
社長とは知り合った時間は短いのですが寺田社長が作って下さった大事な場を通して社長との初めであり
最後だった、短いのですが強烈な出会いでした。神様は私達各自に定められた時間まで私達のすべてを通して毎瞬間
おっしゃり真の人生の生き方を選択が出来るようにチャンスを与えていらっしゃるがあらためて悟りました。
お先になられた小松社長を思いながら残された私達は私達の残された時間を考えてみます。
私達は具体的にどんな死を向かうのかは分かりません。
でも、今、毎瞬間私達がどのような歩みをすれば良いのかは分かっております。私達に毎日、新たに渡された日々を
大事に行き守ればある日、恐れではない平安と感謝で私達の最後の日を迎えられるだろうと悟れる出会いでした。
小松社長が下さった最後のメッセージに感謝致します。
小松社長、平安に眠れるとお祈りいたします。

システム管理企画部 主任

金 憬 範

10月に初めてお会いして、体も心も限界を越えてるはずなのに笑顔を絶やさず自分たちに勇気をくれました。
その姿に自分は真の男の姿を魅せられました。そして小松社長の勇姿は自分の中で生き続けています。
小松社長のその姿を胸に自分もこれからの人生を送って行きたいと思います。
ありがとうございました！！

工事部主任

澤熊 聖哉

再会の楽しみも消えました。どうぞゆっくりと お眠り下さい。

御冥福をお祈り致します。ありがとう

奥 永 一 雄

突然の訃報に驚いております。

小松社長と初めてお会いした日のこと、昨年の前夜祭で皆で肩を組み合唱されていたお姿 昨日のことにように思い出されます。

とても気さくで闘病中であるとは思えないほど明るく優しい笑顔で接して下さいました。

余命宣告を受けても負けまいと闘うお姿に随分と私達が励まされました。

もうお会いすることも出来ないと思うと淋しいですが 小松社長のどんな困難にも立ち向かっていたお姿を胸に前に進んで行きたいと思えます。

心よりご冥福をお祈りいたします。

伊田営業所

阿部 智鶴

尊敬する小松社長へ

お久しぶりです。ご無沙汰しております。

9月にサプライズで還暦祝いをした折りは病気にもかかわらず、元気な声で電話を頂きありがとうございました！

自分が励ます所か、逆に励まされたような気がします。

小松社長とお逢いしてまだ、2年程ですが、自分にとってとても大きな存在であり、尊敬する社長です。

欲を言えば、もっと早く小松社長に出逢って一緒に仕事をしてみたかったなと言うのが、本音です。

短い人生の中で、ご縁があり 小松社長に出逢えた事に心から感謝します。

長い闘病生活、本当にお疲れ様でした。 また、いつか逢える日を楽しみにしています。

その時は必ず一緒に仕事をしましょう！ 宜しく申し上げます。

泰承工建

中村 泰蔵

小松社長へ

長い闘病生活お疲れ様でした。

みんなと会った時の笑顔、気遣い、凜とした態度・・・ 弱音を吐かず覚悟を持って前向きに・・・

態度で示してくれた私へのメッセージだと思っています。社長の人柄に触れ勇気をもらいました。

本当にお疲れ様でした。 ゆっくりお休みください。

社長、またあいましょう！

(株)正輝代表

井上 智正

小松芳昭様が永眠された事は共に現場で働く者 会社を通じて 氏に系りを持つ方々 皆の気持は 永眠するには早すぎると思ったことでしょう。

私達共通した建設業に従事する者に託された事を全うしていき小松様の永眠にささげます。

竹内産業 代表

竹内 輝夫

宇戸 英二

小松社長の御霊(みたま)に、取引業者の一員として、慎んでお別れの言葉を申し上げます。
 思えば小松社長は御社 社員の皆様と同様に、私ども取引業者にとりましても、慈父のような存在でございました。
 私どもが御社とお取引を願うようになりましてから、今日に至るまで、小松社長から受けましたご教訓は、
 数限りなくございます。

とりわけ 私どもが感謝にたえないのは、小松社長のお心の広さ、そして深さでありました。
 長いお取引の間には、私どもは仕事のうで、数多くの失敗をいたしております。
 時には、取引を中止されるのを覚悟しなくてはならないような大失敗もございました。
 しかし、小松社長は「してしまったことは仕方がない。同じ失敗を二度と繰り返さないに下さい」と優しく諭されました。

現在もお取引頂いているのは、ひとえに社長のご教訓のおかげでございます。

しかるに、社長はこのたび病に冒され急逝されました。まことに暗夜に灯を失った思いでございます。
 しかし、ご教訓は私どもの心の中に刻まれており、いつまでも消えることはございません。
 どうぞ安らかな ご冥福をお祈り致します。

瓜龍興業(株) 代表 柴田 智之

息子が現場で大変お世話になり、一方ならぬご指導を頂きまして、心よりお礼申し上げます。

2014年12月29日。小松社長 初めての来訪に合わせ、伊田営業所の本堂に飾り付けをしました。
 障子を開けその飾りをご覧になった時のびっくりしたお顔、すぐに満面の笑顔でそして少してれくさそうに
 「これは！これは！」と言いながら座敷に上がって来られた時の様子が今も忘れられません。

手術なさってまだ日も浅く 体調は万全ではなかったと思いますが、私共と一緒にカラオケに興じ、周りに
 心配させまいとダンスまでなさって 社員の歓迎を喜んでくださいました。

2014年・2015年と二度足を運んでいただきました。その時の写真が当社のアルバムに沢山残っております。

これからもこのアルバムを開いて 小松社長との思い出を雄覇一同で語り合いたいと思っております。

今は ゆっくりお休みいただきますよう。心からご冥福をお祈りいたします。

小竹営業所 和多 喜代美

皆様の思いの詰まった弔文を紹介いたしました。

小松社長のあたたかさ・人となりは今更ながら伝わってまいります。

昔から“去る者は 日々にうとし”と言う ことわざ がございます。

亡くなった人のことは 月日が経つにつれ しだいに忘れて行くとの意味ですが、裏を返せば 仏壇や位牌に
 向かい手をあわせられなくても 何かにつけ その方を思いだし話をして偲ぶ事が 何よりの供養であるとの
 教えでもあるのです。

私共はいつまでも 小松社長の事を忘れず 話題にしていまいります。その時は そばに来て笑ってください。

一同で 合掌